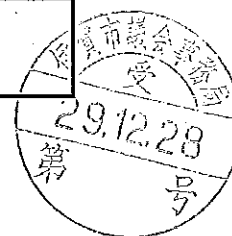


伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 赤堀 久実
研修会名	岐路に立つ図書館＝3つの視点から進化の方向を探る＝	
日 時	平成 29年 11月 7日 13時 00分 ～ 11月 7日 17時 00分	
場 所	パシフィコ横浜 アネックスホール 202	
<p>【研修の成果】</p> <p><今、ここからすべての場所へ—図書館のクオリア 茂木健一郎氏></p> <p>幼い時から年間 200 冊の本を読んでいた。本を読んだ分だけ世界が広がる。一つの分野だけを読むのではなく、様々分野の本を読むことが大事。その為、公立図書館は、様々な世界観が広がる。家庭の本だけでは偏る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータが無くては、人口知能はできない ・子どもが目をつけた物を掘り下げるには図書館が必要 ・受験勉強しているだけの図書館⇒新しい物が生み出せない。楽しみがない。 <li style="padding-left: 20px;">コミュニケーションやイノベーションとしての機能を充実させる ・公民館機能と融合するなど ・廃校の建物を活用 ・静かなルームと声を出していいルームを分けた図書館 ・地域のふれあいの場（世代を超えた）コミュニティ機能 <p>認知症にならないためには、新しいジャンルに出会うことが大事。そのために、図書館でいろんな物に触れ合うことでドーパミンが出る。</p> <p><図書館と自治体政策の再生 宮脇 淳氏></p> <p>図書館＝行政機能 ・行政機能が大きく変わってきている。昔と違って今は経営を考えないといけない。⇒限られた資源をどう活用するのか。</p> <p>経営⇒次の世代につなげていく。新しい事を生み出していくことが大事。（必要なのは投資）</p> <p>公共投資⇒将来に向けて生産性を上げる。資質を上げる。</p> <p>【図書館の進化】</p> <p>①ネットワークハブ機能②創造性を生み出す③公共性を生み出す④科学する機能⑤地域とのパートナーシップ機能</p> <p>行政だけでは、限界があると思いました。住民の声やNPOなど各団体さんなども意見を聞きながら、地域との関わりなど皆で図書館を作り守っていくという取組みが必要だと感じました。</p>		
費 用	旅費：26,620 円 研修参加費： 円 合計：26,620 円	



旅費請求書続紙（生中議員、赤堀議員、西口議員）

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
11月7日	伊賀神戸	近鉄	名古屋	112.2	1,560	1,320						TRCセミナー 「町の課題を解決する図書館」 (横浜市西区: パシフィコ横浜 アネックスホール)	
	名古屋	JR 新幹線	新横浜	337.2		4,630							
	新横浜	JR	横浜	7.9	5,620								
	横浜	私鉄	みなとみらい	1.7	180								
	みなとみらい	私鉄	横浜	1.7	180								
	横浜	JR	新横浜	7.9									
	新横浜	JR 新幹線	名古屋	366.0	5,620	4,630							
	名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320							
計					円	円	円	円	0	円	円	円	合計
				14,720	11,900				0	0	0	0	26,620

※特急料金・座席指定料金は、領収証等の添付が必要です。

※宿泊料(1泊2食付)は、上限額の範囲までの実費精算となるため、領収証の添付により額を確定します。

(宿泊料に食事代が含まれていない場合は、夕食代(1700円)、朝食代(900円)を上限額以内で加算)

領収書等添付用紙

議員名

赤堀久実

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領収証 赤堀久実 様 No. H1-0456

427260-

但 11/7 - 東京模決

29年11月15日 上記正に領収いたしました

株式会社 ミヤギノテクノロジー ベンション
MK テクノロジーズ
〒518-0873 三重県伊賀市土野丸之内500
TEL 0595-48-7700/FAX 0595-48-7701

収入印紙

内訳	金額
現金	/
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

コクヨ 7ケ-92

領収証金額 27,260円のうち、復路の東京-新横浜間(640円)と
手配料 360円は請求しません。

